

【多度津町】
校務DX計画

1 校務DXを推進する上での現状と課題

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、授業研究会や校内研修などは、コロナ禍における取組みとしてオンライン化が積極的に行われたこともあり、クラウドツールの活用が浸透しつつある。

今後は、学校間で利用状況に差があるGoogleChatをはじめとしたクラウドツールを有効活用し、職員会議や職員への周知、行事予定など校内における連絡等のデジタル化を進めていく。

2 校務DXを推進するための課題解決策

令和6年度に導入した校務支援システムの利用を踏まえ、押印や通信手段としてのFAX利用の見直しを行うほか、町教育委員会から各学校への通知等についてもメールでの送付等により校務の効率化やペーパーレス化を進める。

また、手入力作業等については、ICT支援員を通じて業務改善に繋がるツールを提案するなど、教職員の負担軽減を図っていく。

3 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細かな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、県及び県内他市町教育委員会等とも連携しながら、検討を深める。